

(様式例第11)

米医発第 1014001 号  
平成 28 年 10 月 14 日

鳥取県知事 殿

住所 鳥取県米子市車尾4丁目17番1号  
申請者 独立行政法人国立病院機構  
米子医療センター  
氏名 院長 濱 副 隆



独立行政法人国立病院機構米子医療センターの地域医療支援病院の業務報告について

標記について、医療法第12条の2の規定に基づき、平成27年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒152-8621 東京都目黒区東が丘2丁目5番21号
氏名	独立行政法人国立病院機構

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

独立行政法人国立病院機構米子医療センター

3 所在の場所

〒683-0006  
鳥取県米子市車尾4丁目17番1号  
電話 (0859) 33-7111

4 病床数

精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	合計
床	床	床	床	270床	270床

5 施設の構造設備

施設名	設備概要
集中治療室	(主な設備) セントラルモニタ、ベッドサイドモニタ、除細動器 フットポンプ 等 病床数 4床
化学検査室	(主な設備) 自動分析装置、全自動血球計数装置、全自動化学発光酵素、 免疫測定装置、全自動血液凝固線溶測定装置、全自動尿分析装置 自動血球洗浄装置、保冷库、機械換気、照明設備 等
細菌検査室	(主な設備) 細菌自動分析装置、単独換気、照明設備 等
病理検査室	(主な設備) 包埋装置、染色装置、標本ラック、単独換気、照明設備 等
病理解剖室	(主な設備) 解剖台、流し台、照明設備 等
研究室	(主な設備) プロジェクター、スクリーン、椅子、机、シャーカステン 等
講義室	室数 1 室 収容定員 100人
図書室	室数 1 室 蔵所数 5,000冊程度
救急用又は患者搬送用自動車	(主な設備) ストレッチャー、除細動器、心電計、酸素ボンベ 保有台数 1台
医薬品情報管理室	[専用室] 床面積 8.94㎡

(注) 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器等を記入すること。

(様式例第12) 他の病院又は診療所から紹介された患者に対し医療を提供する体制が整備されて  
 ことを証する書類及び救急医療の提供実績

1. 地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率

地域医療支援病院 紹介率	61.8%	/ 算定 期間	平成27年4月1日～平成28年3月31日
地域医療支援病院 逆紹介率	75.7%		
算出 根拠	A : 紹介患者の数		5, 232人 /
	B : 初診患者の数		8, 471人 /
	C : 逆紹介患者の数		6, 414人 /

1. 地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率

- (注) 1 「地域医療支援病院紹介率」欄は、AをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。
- (注) 2 「地域医療支援病院逆紹介率」欄は、CをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。
- (注) 3 それぞれの患者数については、前年度の延数を記入すること。

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
1	医師				
2	医師				
3	医師				
4	医師				
5	医師				
6	医師				
7	医師				
8	医師				
9	医師				
10	医師				
11	医師				
12	医師				
13	医師				
14	医師				
15	医師				
16	医師				
17	医師				
18	医師				
19	医師				
20	医師				
21	医師				
22	医師				
23	医師				
24	医師				
25	医師				
26	医師				
27	医師				
28	医師				
29	医師				
30	医師				
31	医師				
32	医師				
33	看護師				
34	看護師				
35	看護師				
36	看護師				
37	看護師				
38	看護師				
39	看護師				
40	看護師				
41	看護師				
42	看護師				
43	看護師				
44	看護師				
45	看護師				
46	看護師				
47	看護師				
48	看護師				
49	看護師				
50	看護師				
51	看護師				
52	看護師				
53	看護師				
54	看護師				
55	看護師				
56	看護師				
57	看護師				
58	看護師				
59	看護師				

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
60	看護師				
61	看護師				
62	薬剤師				
63	薬剤師				
64	薬剤師				
65	薬剤師				
66	薬剤師				
67	薬剤師				
68	診療放射線技師				
69	診療放射線技師				
70	診療放射線技師				
71	診療放射線技師				
72	診療放射線技師				
73	診療放射線技師				
74	診療放射線技師				
75	臨床検査技師				
76	臨床検査技師				
77	臨床検査技師				
78	臨床検査技師				
79	臨床検査技師				
80	臨床検査技師				
81	臨床検査技師				
82	臨床検査技師				
83	臨床検査技師				
84	臨床検査技師				

○休日、時間外体制

- 医師：当直医師1名、各科オンコール体制
- 看護師：看護師長当直、看護師2交替勤務
- 薬剤師：オンコール体制
- 臨床検査技師：オンコール体制
- 診療放射線技師：オンコール体制

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床数	4床	/
専用病床	4床	/

### 3重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要	24時間使用の可否
救急処置診察室	80.63㎡	血圧監視装置、輸液ポンプ、輸注ポンプ、酸素吸引装置、ストレッチャー	可
手術室1	57.57㎡	手術台、无影灯、麻酔器、心電図モニター、電気メス	可
手術室2	52.56㎡	手術台、无影灯、麻酔器、心電図モニター、電気メス	可
手術室4	59.28㎡	手術台、无影灯、麻酔器、心電図モニター、電気メス	可
手術室5	76.48㎡	手術台、无影灯、麻酔器、心電図モニター、電気メス	可
一般撮影室	62.04㎡	一般撮影装置2台	可
CT室	52.38㎡	マルチスライスCT	可
MRI室	68.63㎡	MRI	可
臨床検査室	161.50㎡	自動分析装置、全自動血球計数装置、全自動化学発光酵素、免疫測定装置、全自動血液凝固線溶測定装置、全自動尿分析装置、自動血球洗浄装置、保冷库	可

### 4備考

病院群輪番制病院

(注) 特定の診療科において、重症救急患者の受入体制を確保する場合には、その旨を記載すること。

既に、救急病院等を定める省令(昭和39年厚生省令第8号)に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院、救急医療対策の設備事業について(昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知)に基づき救急医療を実施している病院にあっては、その旨を記載すること。

### 5救急医療の提供の実績

救急用又は患者輸送自動車により搬入した救急患者の数	1,263人 (713人)
上記以外の救急患者の数	6,981人 (969人)
合計	8,244人 (1,682人)

(注)それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記入すること。  
括弧内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

### 6 救急用又は患者輸送用自動車

救急用又は患者輸送用自動車	1台
---------------	----

(様式例第14) 地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用（共同利用）のための体制が整備されていることを証する書類

1 共同利用の実績

○開放型病床(H27.04.01~H28.03.31)  
利用医療機関延べ数 18件 /  
(うち開設者と関係のない医療機関延べ数18件)  
病床利用率 18.5%

○高額医療機器の共同利用(H27.04.01~H28.03.31)  
・CT 190人(うち開設者と直接関係の無い医療機関延べ数190人) /  
・MRI 458人(うち開設者と直接関係の無い医療機関延べ数458人)  
・リニアック 29人(うち開設者と直接関係の無い医療機関延べ数29人)  
・RI 109人(うち開設者と直接関係の無い医療機関延べ数109人)

(注) 前年度において共同利用を行った実績がある場合において、当該前年度の共同利用を行った医療機関の延べ数、これらの医療機関のうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数、共同利用に係る病床の病床利用率を明記すること。

2 共同利用の範囲等

○開放病床5床 /  
○大型医療機器(CT、MRI、リニアック、RI) /  
○会議室 /

(注) 当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用の対象とする予定のものを明記すること。

3 共同利用の体制

ア 共同利用に関する規定の有無 有 /  
イ 利用医師等登録制度の担当者 氏名: /  
職 種: 看護師 /

(注) 共同利用に関する規定が有る場合には、当該規定の写しを添付すること。

4 登録医療機関の名簿

医療機関名	開設者	住所	主たる診療科	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
赤松整形外科医院	赤松 凱彦	富士見町2-10-3	整・リハ	無
あだち脳神経外科クリニック	芦立 巖	西福原1-1-12	外・脳外・胃	無
荒川耳鼻咽喉科医院	荒川 雄司	東福原6-12-43	耳鼻咽	無
石川内科胃腸科医院	石川 直	義方町14-5	内・胃・小	無
井田内科医院	井田 拓夫	境港市小笹津町888	内	無
伊藤内科胃腸科医院	伊藤 慎哉	上福原3-3-72	内・胃	無
岩本医院	岩本 好吉	尾高3040-5	内・胃・婦	無
潮医院	潮 晴美	南郡町天万1504-1	内・小	無
太田医院	太田 道雄	東町305	外・胃・肛・皮	無
真誠会セントラルクリニック	小田 貢	河崎580	内・循・呼・リハ・麻	無
こどもクリニックかさぎ	笠木 正明	中町76-2	児	無
鎌沢マタニティークリニック	鎌沢 俊二	熊党142-7	産・婦	無
キマチ・リハビリテーション医院	来海 秀和	大山町富長755-5	外・整	無
木村内科医院	木村 禎宏	天神町2-35	内・小・放	無
木村皮膚科クリニック	木村 秀一朗	東福原3-8-58	皮・泌	無
きむら小児科	木村 浩	皆生3-12-1	児・アレ	無
大山町国民健康保険後大山口診療所	久野 宣年	大山町米長290-7	内・神内	無
クリ内科胃腸科クリニック	栗原 達郎	西福原6-2-28	内・胃	無
小竹内科循環器科クリニック	小竹 寛	角盤町2-101-6	内・循	無
佐伯医院	佐伯 良人	江府町江尾1997	内・小	無
高田内科医院	高田 貢太郎	境港市東雲町7	内	無
田中外科医院	田中 陽	伯耆町吉森58-2	外・内・整	無
田辺内科胃腸科医院	田辺 嘉直	道笑町4-95	内・胃・消	無
小谷医院	鳥羽 信行	大山町山京屋243-1	内・小・整	無
中曾産科婦人科医院	中曾 庸博	西福原4-8-41	産・婦	無
母と子の長田産科婦人科クリニック	長田 昭夫	上後藤8-5-1	産・婦	無
野坂内科医院	野坂 康雄	博労町1-48-3	内・胃・小	無
野坂医院	野坂 英仁	上新印256-6	内・小・消	無
飛田医院	飛田 義信	伯耆町溝口243-2	内・消	無
藤井外科医院	藤井 卓	奥谷1157	外・胃・整	無
宝意内科医院	寶意 規嗣	万能町16	内	無
本田医院	本田 守	八幡703-1	内・小	無
森医院	森 正宣	南郡町111013-17	内・小	無
米子南クリニック	山内 教宏	奥谷1135-7	内・麻・理学	無
山田内科医院	山田 晴成	錦町1-39	内	無
消化器クリニック米川医院	米川 正夫	両三柳880-1	胃・肛	無
渡部整形外科医院	渡部 陽一郎	境港市上道町1900	整	無
弓場医院	山藤 靖展	旗ヶ崎2-12-10	内・小	無
佐々木医院	佐々木 博史	大山町田中646-1	産・内・整	無
久野内科医院	久野 悟	富益町2165-2	内・循・消	無
安達医院	安達 敏明	両三柳2048	内	無
安部内科医院	安部 良	新開6-4-9	内	無
阿部クリニック	阿部 博章	福市2276-1	耳鼻咽・気	無
旗ヶ崎内科クリニック	石井 敏雄	旗ヶ崎9丁目14-29	内・胃・リハ・放	無
石田内科循環器科医院	石田 寿一	夜見町1758-1	内・循・消・呼	無
井上クリニック	井上 寛	東町138	精・心療	無
おおの小児科内科医院	大野 雅子	西福原3-10-34	児・内	無



医療機関名	開設者	住所	主たる診療科	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
川田内科医院	川田 秀一	宮生温泉1丁目4-1	内・循・消	無
富長内科眼科クリニック	富長 将人	東福原5丁目12-19	内・消・循	無
野口内科クリニック	野口 俊之	角盤町4丁目5-2	内	無
循環器クリニック花園内科	花園 直人	東福原3丁目9-1	内・循	無
松本医院	松本 拾	河崎団地1740-19	内・小	無
若原内科外科医院	若原 秀雄	三本松1-6-3	内・外	無
医療法人 養和会 養和病院	坂元 俊文	上後藤3丁目5-1	内・外・特内・リハ	無
マリ医院	山根 蓉子	淀江町今津150	小・皮	無
江尾診療所	武地 幹夫	江府町江尾2000-3	内・消	無
うえます内科・小児科クリニック	上村 次郎	安倍38-2	内科・小児	無
中村医院	中村 暢宏	上後藤3丁目1-6	内・消	無
堤 消化器・内科クリニック	堤 貴司	岡三柳2300-1	内・消	無
新田外科胃腸科病院	新田 晋	中島2-1-46	外・内・整	無
永井整形外科医院	永井 琢己	上後藤1丁目8-26	整	無
瀧田整形外科医院	瀧田 寿彦	角盤町4-145-1	整	無
彦名クリニック	井底 信幸	彦名町2856-3	内・科・産・婦	無
岡空医院	岡空 謙之輔	糺町1-25	小・内	無
永原医院	永原 裕	淀江町西原1020-41	内・小	無
安田内科医院	安田 収一	二本木539	内・呼・特・小	無
とみます外科プライマリーケアクリニック	廣田 裕	宮益町米川東82533-2	外・リハ・特内・整	無
根津整形外科医院	根津 勝	西福原6丁目1-28	整・リハ・リウマチ	無
南部町国民健康保険西伯病院	高田 照男	南部町後397番地	内・外・特内・小	無
かわたに医院	川谷 俊夫	車尾南1-8-30	内・小	無
医療法人社団 ひだまりクリニック	福田 幹久	車尾南1-12-41	内・外・呼外	無

注) 当該医療機関と同一の2次医療圏に所在する医療機関のみ記入すること。

常時共同利用可能な病床数	5床
--------------	----

(様式例第15)

地域医療従事者の資質の向上を図るための研修  
を行なわせる能力を有することの証明

1 研修の内容

別紙 講演・研修一覧
------------

2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	20回
(2) (1)の合計研修者数	1,419人

注) 前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修体制

- ア 研修プログラムの有無
- イ 研修委員会設置の有無
- ウ 研修指導者

有 ・ 無  
有 ・ 無

研修指導者 氏名	職種	診療科	役職等	臨床経験数	特記事項
	医師	外科	院長		
	医師	外科	部長		
	医師	整形外科	部長		
	医師	泌尿器科	部長		
	医師	小児科	部長		
	医師	胸部血管外科	部長		
	医師	血液腫瘍内科	センター長		
	医師	呼吸器内科	部長		
	医師	糖尿病代謝内科	部長		
	医師	整形外科	部長		
	医師	放射線科	部長		
	医師	外科	部長		
	医師	麻酔科	部長		
	医師	循環器内科	部長		
	医師	内科	医長		
	医師	消化器内科	医長		
	医師	外科	医長		
	医師	感染症内科	医長		
	医師	外科	医長		
	医師	整形外科	医長		
	医師	整形外科	医長		
	医師	緩和ケア内科	医師		
	医師	外科	医師		
	医師	胸部血管外科	医師		
	医師	消化器内科	医師		
	医師	呼吸器内科	医師		
	医師	消化器内科	医師		
	医師	麻酔科	医師		
	医師	小児科	医師		
	医師	小児科	医師		
	医師	血液腫瘍内科	医師		
	医師	消化器内科	医師		
	医師	泌尿器科	医師		

注) 教育責任者については特記事項欄にその旨を記載すること。

4 研修実施のための施設及び設備の概要

施設名	床面積	設備概要
大会議室	106.66㎡	(主な設備) 音響設備、プロジェクター、スクリーン 椅子、机
小会議室	39.78㎡	(主な設備) 音響設備、プロジェクター、スクリーン 椅子、机
研修センター	102.76㎡	(主な設備) プロジェクター、スクリーン、椅子、机

(様式例第16)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	地域医療連携室長		
管理担当者氏名	地域医療連携係長		
区分	保管場所	分類方法	
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方箋、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院中の診療経過の要約	事務部 病歴管理室 電子カルテ内	病院日誌、各科診療科日誌は年度別その他は患者別	
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	地域医療連携室	ファイル
	救急医療の提供の実績	地域医療連携室	ファイル
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績	地域医療連携室	ファイル
	閲覧実績	地域医療連携室	ファイル
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	地域医療連携室	ファイル

注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式例第 17)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

閲覧責任者氏名	地域医療連携室長
閲覧担当者氏名	地域医療連携係長
閲覧の求めに応じる場所	地域医療連携室
<p>閲覧の手続きの概要</p> <pre>           閲覧請求者  [ 閲覧請求 ] ← 通告                     ↓           閲覧責任者  [ 閲覧の可否 ]                     ↓           閲覧請求者  [  可  ]                     ↓                     [  否  ]                     ↓                     [  閲覧 ]                     </pre>	

前年度の総閲覧件数	0 件	
閲覧別	医師	0 件
	歯科医師	0 件
	地方公共団体	0 件
	その他	0 件

(注) 閲覧件数については、前年度の総延べ数を記入すること。

(様式例第18)

委員会の開催の実績

委員会の開催回数	4回	
委員会における議論の概要		
○地域医療支援病院の運営について ○地域医療連携の連携・推進について ○開放病床等について ○救急医療について 詳細は別紙のとおり		

(注) 委員会の開催回数及び議論の概要について、前年度のものを記載すること。

(様式例第19)

患者相談の実績

患者相談を行う場所	地域医療連携室
主として患者相談を行った者 (複数回答可)	看護師 MSW
患者相談件数	延数 7,263件
患者相談の概要	
・がん相談・・・・・・・・・・ 1,159件 ・MSW取扱い・・・・・・・・・・ 6,104件 詳細は別紙のとおり	

(注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。

(様式第20)

その他の地域医療支援病院に求められる取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期	

(注)医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
・情報発信の方法、内容等の概要 ・がんフォーラム開催、胃がんの治療について ・がん医療講演会開催、放射線治療について ・市民公開講座年4回、膝（整形外科）について、緩和ケア病棟について、便秘について 腎不全・腎移植・腎尿路癌の最新情報 ・米子医療センターマガジン「Arc Us」4回発行	

3 退院調整部門

① 退院調整部門の有無	有・無
・退院調整部門の概要 医療ソーシャルワーカーと看護師を配置し、退院してからの治療や看護・介護について退院後在宅ケアや療養場所について提案・調整を行う。	

4 地域連携を促進するための取組み

① 地域連携クリティカルパスの策定	有・無
・策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容	
・大腸がん術後連携パス（化療なし）	大腸がん術後フォロー
・胃がん術後連携パス（化療なし）	胃がん術後フォロー
・肝がん術後連携パス（化療なし）	肝がん術後フォロー
・乳がん術後連携パス（化療なし）	乳がん術後フォロー
・肺がん術後連携パス（化療なし）	肺がん術後フォロー



(様式例第12) 紹介率と逆紹介率にかかる添付書類

紹介患者への医療提供及び他院への患者紹介実績月別内訳

区分	H27.04	H27.05	H27.06	H27.07	H27.08	H27.09	H27.10	H27.11	H27.12	H28.01	H28.02	H28.03	合計
A：紹介患者数	407	370	405	431	414	424	504	514	461	425	390	487	5,232
B：初診患者数	609	591	667	672	765	689	828	823	775	668	628	756	8,471
C：逆紹介患者数	489	501	514	503	515	482	523	507	607	585	547	641	6,414
地域医療支援病院紹介率 A÷B×100	66.8%	62.6%	60.7%	64.1%	54.1%	61.5%	60.9%	62.5%	59.5%	63.6%	62.1%	64.4%	61.8%
地域医療支援病院逆紹介率 C÷B×100	80.3%	84.8%	77.1%	74.9%	67.3%	70.0%	63.2%	61.6%	78.3%	87.6%	87.1%	84.8%	75.7%

(様式例第14) 共同利用の体制にかかる添付書類

## 2 開放病床運営委員会規程

### (目的)

第1条 本規程は、米子医療センター（以下「センター」という。）と鳥取県西部医師会（以下「医師会」という。）との連携協議により病院内に開放病床を設置して、相互に医学の研鑽を行い、包括的で一貫性のある医療を提供することを目的とする。

### (開放病床)

第2条 本規程における開放病床とは、第4条による登録医が自らセンターに届出入院させた患者に対して、診療及び指導をセンター医師と協同して行うことのできるセンター内病床をいう。

- 2 開放病床における診療及び看護は、センターの診療及び看護方針に基づき行うものとする。

### (運営委員会)

第3条 開放病床を効率的且つ円滑に運営するため、米子医療センター開放病床運営委員会（以下「運営委員会」という。）を設置する。

- 2 運営委員会の組織及び運営に関し必要な事項は、運営委員会細則に定める。

### (登録医)

第4条 開放病床を利用しようとする医師会会員は、登録医申請書（様式1）を作成し、医師会長の推薦を経て院長に提出するものとする。

- 2 院長は、第3条に定める運営委員会にはかり登録を承認するものとする。  
院長は、登録を承認された医師（以下「登録医」という。）に対し登録医証（様式2）を交付するものとする。
- 3 登録の期間は2年間とし、センター及び登録医双方に異存のない場合は自動的に延長するものとする。但し、院長及び医師会会長が不相当と判断した場合は、第3条に定める運営委員会にはかり、登録を取り消すことができるものとする。

### (診療)

第5条 登録医は、別に定める米子医療センター開放病床運営実施要領に基づき、自己の届出入院させた患者の診療及び指導をセンター担当医師と協同して行うものとする。

### (その他)

第6条 本規定に定めるもののほか必要な事項は、運営委員会の議を経て院長が別に定める。

### 附則

1. この規程は、平成8年5月1日から施行する。
2. 昭和63年6月1日制定の米子医療センターオープンシステム取扱規程は廃止する。
3. 平成16年4月1日 一部改正

(様式1)

登録番号	
登録年月日	

## 登録医申請書

私は、米子医療センター開放病床の登録医となることを希望いたしますので、登録をお願いいたします。

平成 年 月 日

米子医療センター院長

申請者

医師氏名

印

ふりがな			男	生年月日	明大 年 月 日
氏名			女		
住 所	(〒 )		電話		
病院又は 診療所	名 称		開設年月		
	所在地	(〒 )			
	電 話		FAX		
	主 な 診療科名				
最終学歴	( 年 月卒業 )				
医籍登録	年 月 日(第 号)				
保 険 医 登録番号			登録希望	内科	
			診療科		
臨床経歴等 履歴事項					
上記の者を米子医療センター開放病床の登録医として推薦します。					
平成 年 月 日					
推薦者					
印					

(様式2)

第 号

## 登 録 医 証

殿

貴殿は、米子医療センター開放病床の利用する登録をされた医師であることを証します。

期 間 自 平成 年 月 日

至 平成 年 月 日

平成 年 月 日

米子医療センター院長

濱 副 隆 一

(注) センター及び登録医双方に異存のない場合は、登録期間を自動的に延長いたします。

## 開放病床運営実施要領

### (開放病床の編成)

第1条 開放病床は、5床とする。

- 2 院長は、開放病床の円滑な運営を図るため、センター内の医師を開放病床医長及び開放病床副医長に指名するものとする。
- 3 鳥取県西部医師会長は、登録医の中から開放病床主任1名及び開放病床副主任1名を指名するものとする。

### (患者の入院、退院)

第2条 登録医は、自己の診察した患者を開放病床に入院させようとするときは、開放病床入院届出書(様式3)を開放病床医長を経由して院長に提出し承認をうけるものとする。

- 2 開放病床医長は、開放病床に患者を収容(以下「開放病床患者」という。)するとともに院長と協議し、センターの医師を開放病床担当医(以下「担当医」という。)に指名する。

また、登録医に対し、担当医を連絡するものとする。

- 3 開放病床患者は、院長に入院申込書(様式4)を提出するものとする。  
ただし、待遇、取り扱い等は、他の入院患者と同様とする。
- 4 入院期間は、原則として1カ月を限度とする。
- 5 退院の決定は、担当医、登録医及び開放病床医長の意見を聞いて、院長が行うものとする。

### (診療)

第3条 開放病床患者に関する診療は、院長の管理下にあるものとする。

- 2 登録医の診療時間は原則として、午後1時から午後3時(土曜日、日曜日及び祝日を除く。)の間とする。それ以外の時間帯において診療をする場合は、あらかじめ開放病床医長に連絡をするものとする。

なお、登録医は、診療にあたっては、病棟の出勤簿(様式6)に押印し必要事項を記載するものとする。

- 3 担当医との交見は直接行うか、病棟の連絡簿(様式5)を通じて行うものとする。
- 4 共同指導を実施した日は、開放病床共同指導実施票(様式7)に記載し、登録医控分は翌月初めに医事より登録医に提出するものとする。
- 5 共同指導による指導料の請求については、開放型病院協同指導料の説明(様式8)にて周知するものとする。

### (登録医の責務)

第4条 登録医は、センター規則を守るとともに病院内においては所定の診察衣を着用し、名札をつけるものとする。

- 2 登録医の過失によりセンターに損害を与えたときは、登録医は賠償の責任を負わなければならない。
- 3 登録医は、センターが開催する学術的会合に出席し生涯教育の研鑽に努めるものとする。
- 4 登録医は、センター内医師の教育に積極的に参加、協力するものとする。

(連絡会及び研究会)

第5条 登録医及び開放病床の関係者は必要の都度連絡会及び症例検討会等の研究会を開催するものとする。

- 2 前項の連絡会及び研究会は、開放病床医長、開放病床主任を世話人として行うものとする。

(附属施設の利用)

第6条 登録医は、センター内の指定する控室、カンファレンス室、図書室及び駐車場を利用することが出来るものとする。

(その他)

第7条 本要領に定めのない事項については、センターの他の病床の例によるものとする。

附則

1. この要領は、平成8年5月1日から施行する。
2. 平成16年4月1日 一部改正



## 開放病床運営委員会細則

### (目的)

第1条 開放病床運営委員会規程第3条に基づく米子医療センター開放病床運営委員会（以下「委員会」という。）の組織及び運営に関し必要な事項は、この細則の定めるところによるものとする。

### (組織)

- 第2条 委員会は、委員長1名、副委員長2名の他、次の委員をもって組織する。
- 2 委員長には米子医療センター院長を、副委員長は同センター副院長及び鳥取県西部医師会長（1名）をあてるものとする。
  - 3 委員は、【病院側】開放病床医長（統括診療部長）、副開放病床医長（内科系診療部長・外科系診療部長）、事務部長、看護部長、管理課長、企画課長、経営企画室長、副看護部長、開放病床師長（6名）、専門職。  
【登録医側】開放病床主任、開放病床副主任、登録医数名をあてるものとする。

### (委員会)

- 第3条 委員会は、原則として年2回開催するものとする。
- 2 委員長が必要と認めたときは臨時会を開催することが出来るものとする。
  - 3 委員長は、委員会を召集し、その議長となる。
  - 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときはその職務を代行するものとする。
  - 5 委員会は、必要な場合には、委員以外の者の出席を求め、その意見を聞くことができるものとする。

### (審議事項)

第4条 委員会は、開放病床の運営管理に関する事項を審議検討するものとする。

### (庶務)

第5条 委員会の庶務は、米子医療センター専門職において処理する。

### (その他)

第6条 本細則に定めるもののほか必要な事項は、運営委員会の議を経て病院長が定めるものとする。

### 附則

この細則は、平成8年5月1日から施行する。

昭和63年6月1日制定の国立米子病院オープンシステム委員会規程は廃止する。

平成16年4月1日 一部改正

(様式3)

(事務部医事入院係にお届けください。)

(注) 届出書の受付時間は、8時30分～17時15分までです。

## 開放病床入院届出書

患者住所

氏名

生年月日

年

月

日

男・女

上記の者、開放病床への入院希望(平成 年 月 日入院)していますので収容されたく届出ます。

診断名又は主訴:

病歴:

平成 年 月 日

米子医療センター院長

濱副隆一 殿

登録医

住所

氏名

印

※緊急の場合の連絡先





(様式7)

# 開放型病院共同指導実施票

(平成 年 月 日)

患者番号

氏名

生年(明・大・昭・平) 年 月 日生

共同指導を実施された日○印をお付け下さい。なお、入院期間が1カ月を越えた場合は、◎印をお付け下さい。実施票(登録医控分)は、翌月始めに医事より届けします。

保険資格		
社保本人	国保0割	老
社保家族	国保1割	
退職本人	国保2割	
退職家族	国保3割	

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31

月 日退院

登録医	先生
担当医	先生

指導実施回数	患者一部負担金	支払い決定額

病名記入欄	診療開始日	病名記入欄	診療開始日

開放型病院共同指導実施(平成 年 月分)を上記のとおり報告いたします。

登録医殿

米子医療センター医事

(様式8)

開放病床ご入院の皆様へ

米子医療センター院長

開放型病院共同実施指導料のご説明

ご入院に際して、紹介の先生からご説明を受けられたことと思いますが、当院では、開放型病院共同実施指導料を毎月末に締め切り翌月始めに入院料と同時に支払いただくようになっております。(但し、ご退院の際は退院日)。

これは、皆様方の登録医(紹介医)の先生方が自ら病院に届出て入院させ開放病院に赴いて当院の担当医と共同して診療及び指導を行った際に法令の定めによって算定される指導料です。

ご不明の点がございましたら、医事入院受付でご遠慮なくお尋ね下さい。

1日も早くご快方に向かわれることをお祈り申し上げます。

独立行政法人国立病院機構米子医療センター  
高額医療機器共同利用運営規程

(目的)

第1条 この規程は独立行政法人国立病院機構米子医療センター（以下「病院」という。）において、開放病床登録医及び地域の開業医が高額医療機器の共同利用を円滑に促進することを目的とする。

(共同利用高額医療機器)

第2条 本規程による共同利用可能な高額医療機器は下記に定める範囲とする。ただし、本規程に定めのない医療機器の共同利用について要請があった場合は、院長の認める範囲とする。

- (1) コンピューター断層撮影装置 (CT)
- (2) 核磁気共鳴断層撮影装置 (MRI)
- (3) 医療用直線加速装置 (リニアック)
- (4) RI

(共同利用の受付・連絡調整等)

第3条 本規程に定める高額医療機器の共同利用に関する申し込みについては、地域医療連携室を窓口とし、開放病床登録医・地域の開業医と院内関係部署との連絡調整も地域医療連携室が担当する。

(周知活動)

第4条 本規程に定める高額医療機器利用に関する開放病床登録医・地域の開業医への周知活動は地域医療連携室で行なう。

(庶務)

第5条 本規程の運用に関する庶務は、地域医療連携室で行い地域医療連携室が掌理する。

(その他)

第6条 その他高額医療機器の共同利用について必要な事項は、地域医療連携室で協議し、独立行政法人国立病院機構米子医療センター地域医療支援病院運営委員会に諮る。

附則 この規程は平成22年4月1日から施行する。

(様式例第15) 研修の内容にかかる添付書類



《平成27年度 講演・研修》 予定・実績

地域がん診療拠点病院・地域支援病院の講演・研修

	研修名	会場	参加者数	
			院外	院内
9月19日(土)	がんフォーラム 「胃癌は治る」 1)ピロリ菌と胃癌 消化器内科医長 香田正晴 2)経鼻内視鏡による胃癌検診 消化器内科 松岡政至 3)胃がんの外科治療 外科 山本修 4)抗がん剤治療の効果 外科 谷口健次郎	ビッグシップ 小ホール	179	40
12月12日(土)	がん医療講演会 「放射線治療の今」 1)放射線治療を受ける患者さんとのかかわり方 田村泉 2)緩和ケアにおける放射線治療の実際 松波啓士 3)「放射線治療」よりよく治すを目指して 鳥取大学医学部附属病院放射線治療科教授 内田伸恵	ビッグシップ 小ホール	200	
12月9日	在宅ケアナーズ情報交換会 医療と介護の情報交換会	米子医療センター 研修室	28	3

在宅ケア実地研修会

7月30日	口腔ケア研修 【口腔ケアを学ぼう】 中本紀道医師 歯科衛生士	米子医療センター 研修室	26	5
9月4日	褥瘡ケア研修 「褥瘡予防に必要なおむつケアをマスターしよう」 大王製紙株式会社 おむつフッター 片山智香子	米子医療センター 研修室	23	4
10月29日	感染対策研修会 「ノロウイルス対策嘔吐物の取り扱い」 感染管理認定看護師 荻 幹	米子医療センター 研修室	48	5

市民公開講座

6月27日	いつまでも元気に歩くために 聞いておきたい膝のお話 整形外科 大槻亮二 理学療法士 看護師 6階病棟	米子医療センター 2F外来	117	10
11月14日	緩和ケア病棟を紹介します アロマを使って癒しを体験してみませんか 8階病棟	米子医療センター 2F外来	25	25
2月20日	便秘についてお話しします。 たかが便秘、されど便秘 消化器内科医師 松岡宏至 食事と運動で便秘を改善しましょう 看護師 中本祐美 7階病棟	米子医療センター 2F外来	22	20
3月25日	あなたと家族の健康講座 「腎不全、腎移植、腎尿路癌の最新情報」 神話で語る山陰の魅力 荒神谷博物館館長 藤岡大拙 CKD(腎不全)の予防と早期診断・治療 鳥大腎臓内科 宗村千潮 生体腎移植、献腎移植の現状 杉谷 痛 腎尿路癌の最新情報 高橋千寛	ビッグシップ 多目的ホール	140	20

がんサロン「スマイルサロン」学習支援

5月21日	化学療法って?新しい薬の情報も知りたい がん化学療法認定看護師 永瀬美沙	地域医療連携室	6	1
7月16日	暑い夏を乗り切る食事の工夫 栄養管理室	地域医療連携室	6	1
10月15日	医療安全について 医療安全係長 上野三和子	地域医療連携室	8	1

感染研修会

7月2日(木)	耐性菌について 感染内科医 山根一和	会議室	20	131
---------	-----------------------	-----	----	-----

専門分野がん看護コース研修

9月9日	乳がん看護 乳がん看護認定看護師 長本奈美	会議室	23	31
10月14日	乳がん術後リンパ浮腫 リンパドレナージセラピスト 江戸彩香	会議室	23	40
11月11日	がん性疼痛 がん性疼痛看護認定看護師 堀江千恵	会議室	23	30
12月9日	がん化学療法 がん化学療法認定看護師 永瀬美沙	会議室	13	40
1月13日	家族ケア ～グリーンケアに繋げる家族ケアについて考える～ 緩和ケア認定看護師 山崎美沙	会議室	24	16
2月13日	訪問看護師の視点から、在宅で療養生活を送る患者・家族に必要な看護支援について～患者さんが求めていること～ 日野病院組合訪問看護ステーション主任 濱田辰美先生	会議室	31	11

(様式例第18) 委員会の内容にかかる添付書類

平成27年度 地域医療支援病院運営委員会  
会議次第

1. 開催日時 平成27年12月15日(火曜日)午後7時～
2. 場 所 米子医療センター3階大会議室
3. 会議次第 別記のとおり

《別記》

1 開 会

院長挨拶

2 新規委員の紹介(副院長)

人事異動による変更

鳥取県西部広域行政管理組合消防局警防課長

赤川 紀夫

伯耆町健康対策課長

小村 健

南部町健康福祉課長

山口 俊司

米子市福祉保健部健康対策課長

岩崎 豪

鳥取県訪問看護ステーション連絡協議会西部支部長

多口 美佐子

事務部長

嘉藤 一博

事務局(企画課長)

平 和宏

2 議 題

(報告事項)

①地域医療連携について

(ア) 紹介率等統計データ報告

(イ) 地域連携バスの連携報告

(ウ) 地域医療連携室の活動報告

(エ) 訪問看護の開始について

(オ) 後方支援病院について

②開放病床について

(ア) 開放病床利用状況報告

③救急医療について

(ア) 救急車搬送件数

④その他

《配布資料》

運営委員会出席表・・・・・・・・・・・・・P 1

運営委員会席次表・・・・・・・・・・・・・P 2

紹介率等統計データ報告・・・・・・・・・・・・・P 3～P7

地域連携バスの連携報告・・・・・・・・・・・・・P8

開放病床利用状況報告・・・・・・・・・・・・・P9～P11

救急車搬送件数・・・・・・・・・・・・・P12～P13

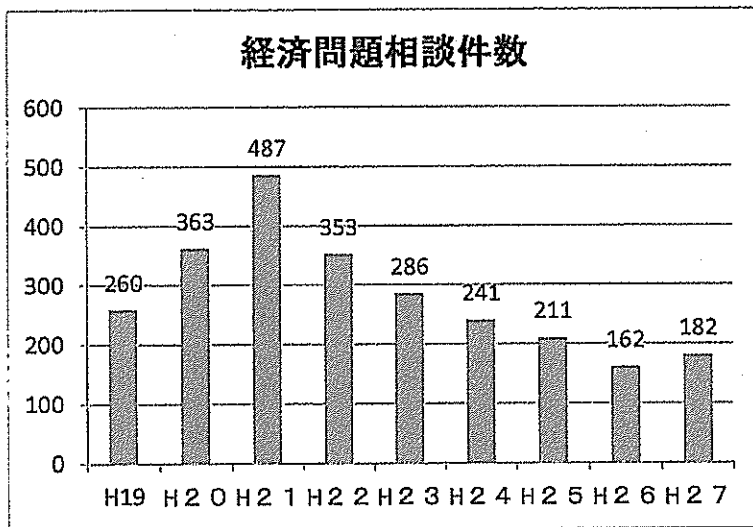
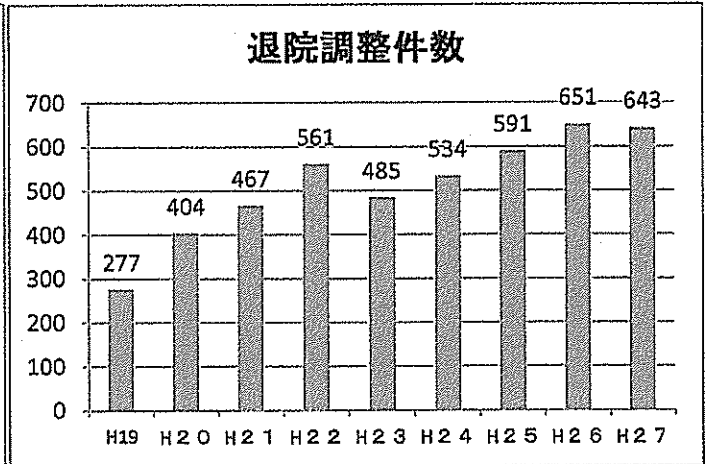
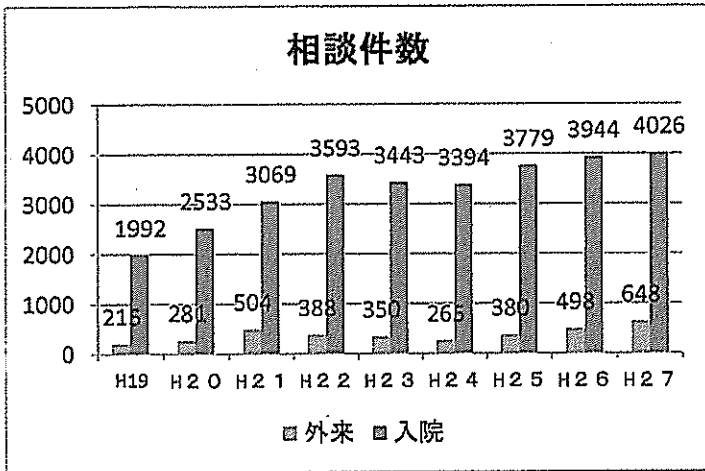
地域医療連携室の活動報告・・・・・・・・・・・・・P14～P16

訪問看護の開始について・・・・・・・・・・・・・P17～P18

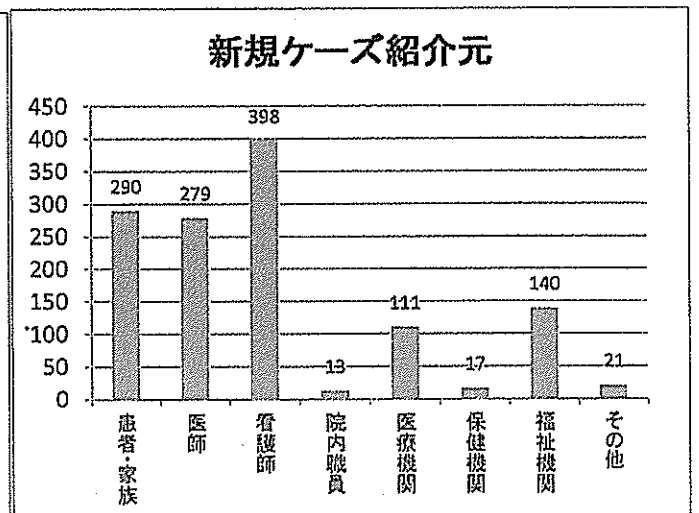
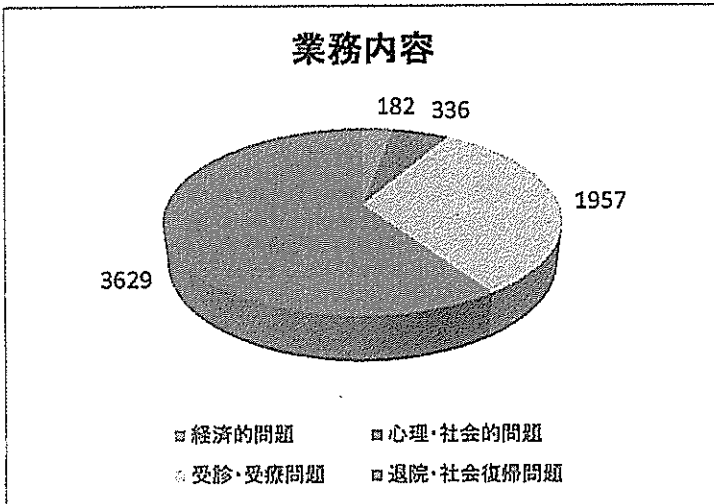
後方支援病院について・・・・・・・・・・・・・P19

(様式例第19) 患者相談の内容にかかると添付書類

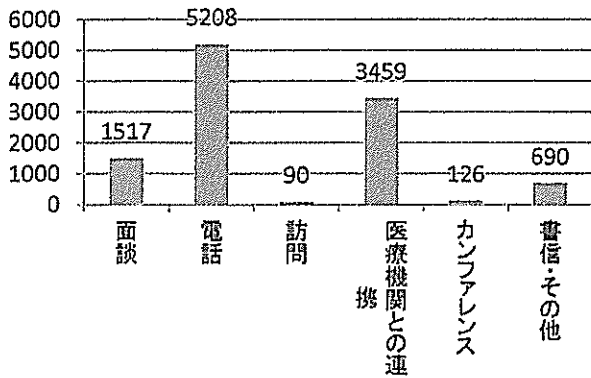
平成27年度 地域医療連携室 業務実績 相談件数推移



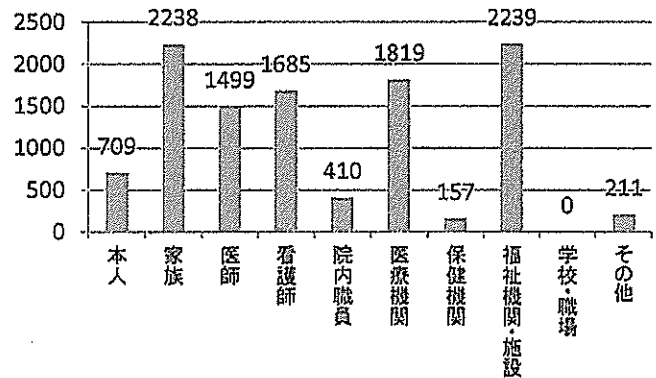
平成27年度 ソーシャルワーカー業務件数



### 援助方法の比率



### 相談・援助対象



### 診療科別相談件数

